

事業所名

どすこい王寺町部屋

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念		閉じない・孤立しない・繋がり続ける			
支援方針		①森の再生、人とコミュニティの再生を目指します。②一人一人に寄り添い、向き合います。③目の前のこの人この子に対して、今、必要な手助けを、具体的に提供します。④支えて下さる皆さんへの感謝を胸に、情報の共有と発信を怠りません。⑤業務にあたっては、熱さ、誠実さ、笑顔をいつも忘れません。			
営業時間		平日：午前 10 時 30 分から 午後 7 時 30 分まで	送迎実施の有無	有	
		土日祝日：午前 8 時 30 分から 午後 5 時 30 分まで			
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・心身の健康を育み、ご利用者の個々に応じた身体的、精神的、社会的支援を行います。 ・基本的生活スキルの獲得ができるよう、また障がい特性に配慮します。（トイレトレーニング、着脱、片づけ、買い物体験、調理活動など） ・畑や田んぼで作物を育てることにより、食への興味関心を深め、自身の健康への意識に繋がります。			
	運動・感覚	・本人が楽しめ、達成感のある遊びを通して、感覚統合の土台となり、さらに発達できるよう体を動かします。 ・感覚の特性を踏まえて、感覚の偏りに対する活動を取り入れます。（フィールド活動、タイヤブランコ、壁面登り、水遊び、相撲、体を使ったゲームなど）			
	認知・行動	・認知の偏りなど、個々の特性に配慮しながら、認知機能の発達を促し、行動につなげることができるよう、支援します。 ・行動障がいの予防および適切行動への対応支援を行います。（視覚、聴覚などの活用で、必要な情報の収集、空間・時間などの概念形成、数量・形の大小、重さ、色の違いの習得、こだわりに対する支援など、又、余暇時間を辛く感じないように、見通しの把握を支援。）			
	言語コミュニケーション	・人と関わる楽しさを知り、個々に応じたコミュニケーション手段の獲得を目指します。（言語の習得、絵カードなどのコミュニケーションツール、指さし・身振り・サイン、配慮された場面でのコミュニケーション能力の向上、相手の意図の受容・自分の考えの表出）			
	人間関係社会性	・他者との関わりを通して安心感や信頼感を育み、人間関係の形成や仲間づくりに繋がるよう支援します。 ・遊びを通してルールや役割などを理解し、社会性の発達を促します。 ・外出や近隣施設との交流、さまざまな体験などを通して、自ら主体的に活動できるよう、支援します。 ・失敗してもリカバリーできるチャレンジする力をのばす。 ・相手も自分も大切にできる視点。			
家族支援		・保護者の希望や必要に応じて、面談を行い、相談援助を行います。 ・家族のレスパイト支援に対応します。	移行支援	・学校や保護者と情報共有を行いながら、ライフステージの変化や将来を見据えた支援を行います。	
地域支援・地域連携		・地域の公園での活動を通しての交流 ・地域のイベントへの出店		職員の質の向上	・施設内外研修 ・救急救命普通講習 ・全体研修(事業所合同)
①主な行事等/②具体的活動		①田植え、収穫、餅つき行事、カヌー行事など。 ②創作活動：コラージュ・粘土・工作など。 音楽活動：リトミック 健康活動：調理実習・野外活動 お話活動：紙芝居 学習活動：宿題の見守り・学習プリントの提供・鉄道教室・工作教室など。			

※児童発達支援

健康・生活：健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成(睡眠・食事・排泄など)を支援します。

運動・感覚：運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、さまざまな体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。

(含む、音楽療法)

認知・行動：特性に合わせて、方法や環境調整を模索し、円滑な学びを支援します。(満足感、達成感などの動機付けに配慮)

言語・コミュニケーション：自分もまわりの人も大切にすることを支援します。

(言葉のみならず、ジェスチャー、絵カードも利用)

人間関係・社会性：ソーシャルスキルを支援します。

(順番交代、役割、ルールを守る、指示にそった行動をとる、気持ちのコントロール)

(ストレスが強いときには、子どものペースに合わせて、ストレスの発散を考えます。)